



身近な自然の観察・記録活動 石神井川緑道版

2021.11.26

一人ひとりの自主活動 だれでも参加できます

活動：月2回(第二木曜日・第四金曜日)10:00より(雨天中止)
コース：帝京大学付属病院北詰・御成橋たもと → 金沢橋
問合せ・連絡先：090-8646-9757 木村松夫 com-matchan@hotmail.co.jp

12月の石神井川観察は、12/9(木)、12/24(金) 9:40JR マンション前
10:00 帝京大学病院北側の御成橋たもと出発

前回(11/11)は体調不良で参加できず。その代わりに2人の活動者がきちんと記録を取ってくれました。観察活動を始めて6年目に入っていますが、石神井川観察で活動者が木村に代わって記録を取ってくれたのは初めてのこと。頼もしいことです。

枯草にも風情あり！



←エノコロ
グサと
メヒシバ→
の枯れ姿。約1
か月ぶりの石神
井川緑道レポ
ートになります



が、朝晩の寒さは厳しくなってもお昼ごろになると暖かさが戻ってくる、依然として中途半端な秋が続いていて、草花の枯れ姿も長持ちしているようです。こうして、しっかり見つめてみるとなかなか趣があるものです。

その一方で春の草も展葉が活発です。下左はオヤブ
ジラミ、右はフラサバソウの展葉が観察されまし

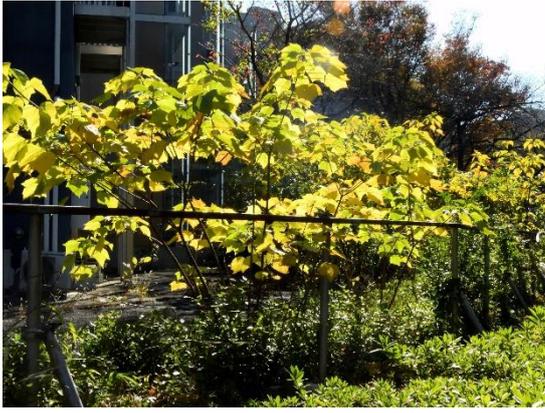


た。異常高温だっ
た今年には太平洋の
南米大陸のあたり



の海水温があつたかいまのラニーニャ現象だとか。これが日本列島に影響するのは異常低温の冬だということ
で、この先いったいどういうことになるのやら・・・。

それでも秋であることには違いない



春の芽出し
がきれいな
←アカ
メガシ
ワ。黄色
く色づいて
いるのも結



構見もの。紅葉と黄葉に常緑の緑が重なると「錦」になるのですが、↑この写真の木々、もう少し重なってくれるといい感じなのですが・・・。

冬の木「柎」は遅れじと咲き、春の木「椿」は何を急ぐか？



左の2枚の写真は季節通りに咲いている花（上はヒイラギナンテン、下はサザンカ）。でも、右の写真はどう見てもツバキ。ヒイラギは木偏に冬に対して、ツバキは木偏



に春なのだから、今頃咲くとはどういうこと？ この株の昨年までの開花記録を調べてみるとやはり2月後半から3月に開花していました。なにをそんなに急いで咲くのでしょうか？

センダングサの仲間2種

下の左は白い舌状花が付いているセンダングサ、右は隣のエリアで観察した舌状花がないコセダングサ。背丈が高く伸びて花と実が同時進行。赤塚公園でもこの2種を見比べて観察できる機会は少なく、案外、珍しいことです。

